

# 「傷害の防止」

～南海トラフ大地震発生！その時あなたは？～

本校の育成する資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働性

- 1 日 時 令和2年9月29日（火）10:50～11:40
- 2 学年・学級 2年A, B組男子（計38名）
- 3 場 所 2年A教室
- 4 単元について

## （1）単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）の保健分野（3）傷害の防止（ウ）自然災害による傷害の防止の内容である。本単元では、次のような資質・能力を育成することと示されている。

（3）傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。

（ア）交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること【知識及び技能】

（イ）交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること【知識及び技能】

（ウ）自然災害による傷害は、災害発生時だけではなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること【知識及び技能】

（エ）応急手当を適切に行うことによって、障害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと【知識及び技能】

イ 傷害の防止について、危険予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること【思考力・判断力・表現力等】

本単元の自然災害による傷害の防止は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒などによる危険が生じること、また、地震に伴って、津波、土砂崩れ、地割れ、火災などによる二次災害によっても生じることが理解できるようにする。自然災害による傷害が災害発生時だけではなく、二次災害によっても生じることから、その防止には、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、地震などが発生した時や発生した後、周囲の状況を的確に判断し、冷静・迅速・安全に行動すること、事前の情報やテレビ、ラジオ等による災害情報を把握する必要があることを理解できるようにする単元である。

## (2) 生徒観（調査結果等から見る課題）

本学級の生徒は、非常に活発に活動することができる。体育分野においては記録更新や技の習得に向けて進んで練習するなどとても意欲的に活動に取り組むことができる集団である。

防災学習のアンケート結果は、災害後の生活について学習していく必要があると答えた生徒は、90%であり、この単元について非常に学習意欲が高いことがわかる。また、災害後、自分自身は家族や地域のために行動できると答えた生徒は、70%を超えており災害後に何か役に立ちたいと思っている生徒が多いことがわかる。しかし、災害後の具体的なイメージができると答えた人は61%であることから、意欲はあるが具体的に何をしたら良いのかイメージできていない生徒が多いことが課題であることがわかった。

## (3) 指導観

指導にあたっては、次の3点の指導の工夫を行う。

- ①一昨年の西日本豪雨による断水経験などを想起させ、交流することで災害後のイメージを具体化させる。また、平成23年の東日本大震災では、中学生が普段の訓練や学習での知識を活かして、津波から逃れたという例もあるように、自らの身を守る知識を学ぶことに必然性をもたせる。
- ②大地震が起きたことを想定し、設定された様々な場所に応じた避難方法を考えることで、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- ③総合的な学習の時間で学んでいる防災学習とも関連付けて、自然災害による傷害の防止には何が必要なのか考えさせる。

## 単元の目標

- 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急手当の意義と実際について、理解することができるようにするとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けることができるようにする。【知識及び技能】
- 傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】
- 傷害の防止について、課題の解決に自主的に取り組もうとすることができるようにする【主体性・協働性】

## 本校で育成を目指す資質・能力と評価規準との関わり

資質・能力	本校が育成を目指す資質・能力	本校が育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための手立て
知・技	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因，自然災害による傷害の防止について，理解することができるようにする	南海トラフ大地震を想定することにより，危機感や課題意識を持たせる。
思・判・表	傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し，自他の危険の予測を基に，危険を回避したり，傷害の悪化を防止したりする方法を考え，適切な方法を選択し，それらを伝え合うことができるようにする。	自分たちの身近な場所を数多く設定することで，より具体的な避難方法を考えられるようにする。
主・協	傷害の防止について，課題の解決に自主的に取り組もうとすることができるようにする。	他者の考えを共有し，自分の考えを再考するようにする。また，振り返りをして，その時間の学びを振り返り，次時の学習の動機付けを行うことができるようにする。

## 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力，判断力，表現力等	ウ 学びに向かう力，人間性等
<p>①自然災害による傷害は，例えば，地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや，地震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じることを理解している</p> <p>②自然災害による傷害の防止には，自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①傷害の防止について，それらに関わる事柄や情報などを整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見している。</p> <p>②傷害の防止について，自他の危険の予測や回避の方法と，それを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①傷害の防止について，「大地震発生時に傷害を防ぐにはどうしたらよいか」という課題の解決に向けての資料で調べようとしている。</p>

## 指導と評価の計画

次	学習内容	評 価
		評価規準（評価方法） 【評価規準，資質・能力】
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の災害について資料を見て，自然災害発生による傷害と二次災害による傷害があることを理解する。</li> <li>過去の起こった災害を想起し，自分たちの行動を振り返る。</li> </ul>	<p>自然災害による傷害は，例えば，地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや，地震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じること理解している。</p> <p>（ワークシート）</p> <p>自分の経験と関連付けて考えている。</p> <p>（振り返りシート）</p> <p style="text-align: right;">【ア-①，イ-①】</p>
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震が起こった時の自分たちの行動を予測する。</li> </ul> <p>示された場所について，自他の安全を確保するために適切な避難方法をグループ検討し，発表する。</p>	<p>傷害の防止について，自他の危険の予測や回避の方法と，それを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。</p> <p style="text-align: right;">【ア-②，イ-②】</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項をまとめる。</li> <li>災害後の生活に関する資料を見て，現在の自分にできることを考える。</li> </ul>	<p>傷害の防止には何が必要かまとめられている（ワークシート）</p> <p style="text-align: right;">【ア-②，ウ-①】</p>



振 り 返 り	⑦振り返りを書く。		
<p>○生徒の振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地震が発生した時は、揺れによる被害だけではなく、津波や火災などの二次災害によっても被害を生じる。</li><li>・地震発生時の場所の特徴によって避難の方法を考える必要があることがわかった。</li><li>・避難場所の情報をより早く集める方法にはどのようなものがあるのか知りたい。</li></ul>			